

2013年区職労春闘方針（2月から6月活動計画）案

2013年1月
千代田区職員労働組合

、春闘情勢について

1. 春闘情勢について

昨年末に成立した安倍内閣は「デフレ脱却」を口実に、13兆円を越す補正予算を決定しました。財政健全化のためとして消費税増税を強行しておきながら、大型公共工事などのばらまきを再び行うというのです。一方、経団連は厳しい経済情勢なので定期昇給も凍結するといひ、大企業でのリストラ強要など春闘をめぐる情勢は厳しいものがあります。公務員にも人件費削減や官民”格差”是正として退職金削減が強行されています。

私たちの暮らしを守るためには官民一体となった、これらの労働者に向けられた攻撃を跳ね返す大きな闘争が求められます。

(1)賃上げと雇用

長引く不況で労働者の賃金は減り続けています。この10年間で39万円も減少し、年収200万以下の労働者は1000万人を超えています。その多くは不安定な非正規労働者であり、貧困化が進んでいます。公務員の職場でも同様で、正規職員の代わりに多くの非常勤職員が自治体の仕事を支えています。

特別区職員の平均賃金はこの14年間で89万2千円も減少する一方で、職員数は13077名も減少、削減率は18%にも及びます。清掃事務移管があったことを考えれば収入は減り、仕事量が増えたのに人減らしで過重労働になっているのは明らかです。

政府は国家公務員が7.8%賃下げしているからと、地方公務員にも賃下げを求めています。すでに賃金が下がっていることを考えれば受け入れられるものではありません。国と同様に退職金削減を実施した自治体では引下げ実施前の駆け込み退職が相次ぎ職場に混乱をきたしています。特別区長会も1月になってから退職金削減提案を行いました。特別区の実情を無視した国基準の削減案は許せません。特区連は清掃労組とも共同して闘いを進めています。

生活保護受給者は増え続け、214万人にも達しています。政府は増大する生活保護費を抑制するため、生活保護費のうち生活費にあたる生活扶助費を3年間で段階的に引き下げることを決めました。96%の世帯が引き下げられ、10%近く引き下げられる世帯もあります。「最低生活」を示す生活保護基準は、最低賃金、税金、保険料保育料などの負担に連動しており、その引き下げは国民生活に甚大な影響を及ぼします。国民生活全体の最低ラインを引き下げ、消費税増税や社会保障の改悪と相まって生活が立ち行かなくなり、貧困化を拡大するだけです。

また、新卒の就職内定率は6割程度にとどまり、定年後も年金支給開始年齢まで働き続けられる保証もありません。

労働者が苦しむ一方で企業の内部留保は増加しています。2011年度では260兆円にも達しています。これらは企業努力によるものでなく、労働者の賃金抑制や首切り合理化の結果です。国民の購買力は低下し、長引くデフレの大きな要因となっています。それなのに定期昇給すら凍結するので私たちの生活は維持することができなくなります。

安倍首相は「2%のインフレ目標」を掲げていますが、賃金が上がらないのに物価だけが上昇することになりかねません。国民の暮らしを守る政策が求められます。そのためにも、生活できるだけの賃上げと雇用の確保が何よりも重要です。

(2)震災復興の足かせになる消費税増税

東日本大震災から2年になるという現在、被災地はいまだに復興には程遠い現実があります。生活再建のためには、何よりも働く場の確保が重要ですが、『復興予算』の多くが大企業の受注する大型工事に奪われ、一時的に働くことができても継続した仕事があれば生活は不安定なものになります。

昨年夏に民主・自民・公明の3党の密室協議で強行した消費税増税は、来年度から段階的に引き上げが実行されます。多くの国民が暮らしにゆとりがない中での消費税増税には反対しています。低所得者ほど負担の多い消費税は被災地にも例外なく悪影響を及ぼします。軽減税率の導入も検討されていますが、復興の足かせになることに変わりはありません。復興予算を防災名目で流用したことも被災地のこと考えていないことを示しています。形だけの復興でなくすべての被災者が安心して生活できる政策が求められます。

(3) 平和と民主主義

安倍内閣の発足で何よりも危惧されるのは憲法改悪です。自民党はすでに憲法改正案を昨年4月に発表しています。総選挙では経済政策ばかり強調していましたが、平和憲法を投げ捨て、米軍と一体となって戦争できる国づくりを目指していることに変わりはありません。過去の侵略戦争への反省も見直すという安倍首相らの言動は近隣諸国からも警戒されています。

国会議員の多くが憲法改正派で占められてはいますが、「憲法九条を守る会」の運動などで改憲策動を押しとどめてきました。国会周辺では「原発再稼働反対」で毎週多くの国民が声を上げています。そして全国各地でも行動に立ち上がる人々が増えていきます。政治を変える原動力は国民の行動です。春闘期にあっても経済闘争に埋没することなく継続した闘いが必要になっています。

、 具体的な取り組み

以下、区職労の春闘期からの活動計画案を提起します。

1、賃上げなどの取り組み（2月から5月）

大企業の莫大な内部留保を吐き出させ、雇用確保と賃上げを求め、地域で春闘に参加していきます。また、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加反対、消費税増税反対、即時原発ゼロ、憲法改悪反対などの課題を掲げ取り組みます。

3月14日と4月12日に行われる千代田総行動、3月11日の春闘共闘統一行動など、地域の春闘に参加します。

第84回メーデー（5・1代々木公園）に参加し、労働者の権利拡充をめざします。成功に向けてメーデー実行委員会をつくり、参加組織を行います。

非正規の賃金・労働条件改善など、自治体からワーキングプアをなくす取り組みを進めます。そのために、公契約条例制定を千代田区に求める取り組みや臨時・非常勤職員の賃金労働条件の改善をめざします。

国家公務員給与削減並みの給与削減に反対し、特別区人事委員会に向け、賃金水準改善を要求し、署名の取り組み、要請行動等を行ないます。

組合員の生活設計の大幅な変更を余儀なくする退職手当の削減、制度改悪に反対して取り組みます。

公務員攻撃を跳ね返すために、官民共同行動への参加、対外的な宣伝行動、公務員攻撃の内容、本質を明らかにする取り組みなどを行います。

2、2013年度人員配置等の取り組み（2月、3月）

保育園、児童館、保健所、学校用務職場、ケースワーカー職場などの本庁舎各職場、人員増が必要な職場の人員確保をめざし、要請行動や交渉を行い、改善をめざします。

職場の適正な人員配置と世代継承のために、新規正規職員の採用増を求めていきます。特に、学校用務、土木現業の採用について、職場の直営維持を守るために要求していきます。

2014年度予算に向けた職場要求集約をアンケートによって実施します（6月）

3、昇任選考改善、昇給の民主的・公平な実施等を求める取り組み（3月から6月）

昇給制度について、公平に、及び幅広く実施するようを求めていきます。（4月1日発表）

定期評定の本人開示について、実施期間の拡大、所属長が的確に応じるよう求めます。

係長選考の受験率、昇任率向上に向けた取り組みを行います。

4、超過勤務縮減及び不払い残業根絶の取り組み（2月以降）

区職労アンケートに基づく残業代の不払いについて、当局のきちんとした対応を求めています。

この期間、超勤縮減と不払い残業根絶キャンペーンを行います。

必要な超過勤務は所属長の命令により退庁管理を行い、不払いをなくすよう求めています。

5、休暇制度の前進などの取り組み（1月から6月）

休暇制度について、更なる前進を求めています。

2013年度の夏季休暇については、年休の年度化問題で決着した内容を実施させます。

6、高齢者雇用に関わる課題について

2014年4月から年金支給開始年齢が引き下がることを踏まえ、年金支給と連動するよう、高齢者雇用問題の解決をめざします。

60歳以降の働き方に関わって職員の意向をアンケートにより把握します（6月）

7、民営化など、公務の市場化に反対する取り組み（2月以降）

保育園の民営化に反対する取り組み

- ・民営化の問題点を明らかにし、保護者等との情報を交換し、協力・共同をして、取り組みます。

保育制度について

- ・子ども子育て新システムの問題点を明らかにし、公的保育制度を守るようにします。

幼稚園用務の委託に反対します。

8、人事異動に対する取り組み（3月）

適材適所、民主的な人事異動の実施を求めます。

人事異動に関わって、職員の意向を当局に反映させるために、異議申し立てを実施させます。

9、13区予算案に対する取り組み（3月）

13区予算案に対する区職労コメントを発表し、その問題点を指摘し、公表します。

10、職員の健康などを守る取り組み（2月以降）

区職労アンケートに示されたパワーハラスメントに対して、当局の対応を求めています。

メンタルヘルス対策の一層の充実を求めます。

11、即時原発ゼロにする取り組み

即時原発ゼロを求め、再生可能エネルギー政策への転換を求めています。

0310原発ゼロ 大行動（3.10、13時から日比谷野外音楽堂周辺）、3.11原発ゼロ統一行動の取り組みに参加します。

12、平和を守る取り組み（4月以降）

憲法9条の意義を広めるために、千代田区役所「職員9条の会」、千代田九条の会と連携した取り組み、学習会に参加します。

5月30日の千代田平和集会の成功に協力します。

沖縄・辺野古への米軍普天間基地の移設に反対、新たな基地を作らせない取り組みに参加します。

安保条約問題等、日本の平和を脅かしている問題についての学習・宣伝を行います。

引き続き、春闘共闘の6・9行動に参加し、核兵器廃絶署名に取り組みます。

13、労働基本権回復の取り組み

スト権も含む公務員の労働基本権回復をめざします。

労働協約締結権付与については、紛争処理の制度化など、使用者側有利にならないよう求めています。

14、組織強化の取り組み（3月以降）

組織強化について

- ・3月、4月、5月、6月と組織強化月間を設定し、新規採用・交流職員、再雇用・再任用・昨年以前採用者等に対し加入訴えを行います。また、組合を最近抜けた職員に対しても復帰を働きかけます。
- ・非常勤職員の組織化を引き続き行います。
- ・新規採用職員対策チームをつくり、新規職員の全員加入をめざします。
役員の意思統一を図り、取り組みの前進をめざします。
- ・必要に応じて闘争委員会を開きます。
- ・1月26日、27日で千代田区春闘共闘委員会と合同で、春闘討論集会（埼玉県飯能市）を行いません。
- ・第1回区職労委員会を2月7日に、第2回区職労委員会を6月中に行います。（2月、6月）
組織財政検討委員会を行い、組織財政を見直します。

学習について

- ・労働学校や各種学習会等への参加組織、新規採用職員等への賃金・労働講座、若年層向け講座（主任選考にあわせたステップアップ講座など）等を実施します。
- ・自治体学校（8月）、日本母親大会（8月）、全国保育合同研究集会（8月）に向け参加組織します。
- ・春闘課題、TPP、消費税、原発等の問題で学習会を開催します。

竹の子掘りツアー（4月・船橋）、さくらんぼ狩りツアー（6月・山形）を実施し、組合員とその家族の交流を行います。

次世代の区職労役員づくり・組織強化に向けて、新規組合員や青年を対象にした取り組みを計画します。

再雇用・再任用の部会組織の立ち上げ、ユース部の活動再開に努力します。

退職者歓送会を3月8日、再雇用・再任用満了者送別会を3月15日に開きます。

退職準備セミナーを6月から9月にかけて行ないます。

職場懇談会（例・昼休み懇談会、テーマ別学習会等）、職場周りを随時行ない、組合員とのコミュニケーションを図ります。

15、新庁舎の職場環境改善に向けて

新庁舎の職場環境について、更なる改善を求めています。

16、活動日程

2月

- | | |
|--------|--|
| 1日（金） | ジャンボ年賀・米出先配布 |
| 2日（土） | 10時、自治労都本部春闘討論集会（連合会館） |
| 3日（日） | 区長選挙投票日 |
| 4日（月） | 18時半、都区職員生協代表者会議（大塚ラパスホール） |
| 5日（火） | 12時、第10回執行委員会
18時15分、特区連第1ブロック決起集会（新宿区役所食堂）
16時、第1ブロック役員助役要請行動（新宿区役所区議会委員会室） |
| 7日（木） | 12時、第1回区職労委員会（組合）
18時半、千代田春闘共闘単組代表者会議（しごとセンター）
18時、保育園こども園分会役員会 |
| 8日（金） | 9時、確定申告相談会（組合）
10時、互助組合評議員会（区政会館）
12時、春闘共闘統一行動（日比谷野音） |
| 12日（火） | 12時、第11回執行委員会
18時半、特区連総決起集会（中野サンプラザホール）
13時50分、区長会役員会要請・座り込み（区政会館）
スト批准投票 |
| 14日（木） | 18時以降、退職手当問題団体交渉 |

15日(金)	12時、新規拡大対策チーム会議 統一実力行使予定
16日(土)から17日	自治体保育労働者の全国集会(浦安市)
17日(日)	味噌づくり講習会(船橋)
19日(火)	12時、第12回執行委員会
26日(火)	17時45分、第13回執行委員会 15時、特区連拡大執行委員会
3月	
1日(金)	18時、春闘共闘宣伝(神保町交差点) 19時、千代田総行動準備会
3日(日)	九条の会講演会
5日(火)	15時、特区連中央委員会 12時、春闘共闘統一行動(日比谷野音)
6日(水)	18時、保育園分会ヨガ講習会(404)
8日(金)	18時、退職者歓送会(いきいきプラザ)
10日(日)	13時、反原発集会(反原連)(日比谷野外音楽堂) 14時に日比谷公園中幸門からデモ出発。 17時から19時、国会議事堂正前で集会
11日(月)	18時半、原発ゼロ全国一斉行動(文京区民センター)
12日(火)	17時半、再任用・再雇用満了者送別会
14日(木)	千代田総行動(朝ビラ、昼デモは)
25日(月)	12時、新入職員への挨拶
27日(水)	16時、新入職員加入訴え
4月	
1日(月)	人事異動
11日(木)	千代田総行動(朝ビラ、昼デモ)
5月	
30日(木)	18時半、千代田平和集会(カスケードホール)

.....